

リレーエッセイ



院長就任のご挨拶

院長 篠崎 浩治

このたび、4月より済生会宇都宮病院の病院長に就任いたしました、篠崎浩治と申します。「みやのわ」をご覧いただいている皆さまには、日頃より当院へのご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

当院は、明治天皇の「済生勅語」に基づく済生会の理念のもと、地域の皆さまの健康と安心を守るために、高度急性期医療、先進医療、救急医療など幅広い医療サービスを提供してまいりました。これまでの伝統と実績を大切にしながら、これからの時代にふさわしい病院へと一歩踏み出してまいります。

私たちは、単に病気を「治す」だけでなく、患者さんの心と体に寄り添う「治し癒す医療」を実現することを目指しております。治療にあたっては、患者さんやご家族の不安や負担を少しでも和らげるため、より充実した取り組みを進めてまいります。

また、急速に進む超少子高齢化や社会環境の変化に対応するため、従来のひとつの病院だけで全てをまかなう「病院完結型医療」から、各医療機関の強みを活かした地域全体での連携体制、すなわち「地域完結型医療」へと転換することが求められています。当院は、地域の医療機関、福祉施設、行政機関との連携を

さらに強化し、患者さんが住み慣れた地域で安心して治療や療養を続けられる環境づくりに努めてまいります。

今後も、医療を通じて地域に貢献し、地域とともに進化する病院として、職員一同が一丸となってより良い医療環境を築いていく所存です。皆さまの健康と暮らしを支えるパートナーとして、一人ひとりに寄り添う医療を実践してまいります。どうぞこれからも、済生会宇都宮病院および新たな体制をよろしくお願い申し上げます。

敬具

当院の直近3カ月の診療実績

	令和6年11月	令和6年12月	令和7年1月
のべ延外来患者数	30,369人	31,722人	27,690人
実入院患者数	1,359人	1,417人	1,331人
平均在院日数	12.2日	11.0日	12.3日
救命救急センター患者数	1,240人	1,447人	1,300人
救急車台数	721台	860台	838台
手術件数	607件	608件	587件

オンライン資格確認に関するお知らせ

マイナンバーカードでの
資格確認に対応しています。

当院ではシステム更新に伴い、オンライン資格確認の端末を増設しました。各外来受付などに設置してありますので、ご利用の際は受付スタッフにお声がけください。

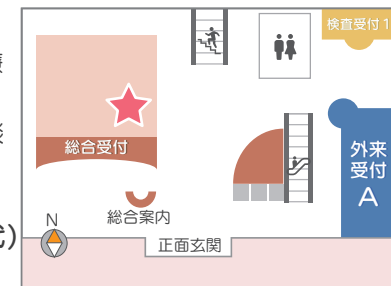


がん相談支援センター
医療相談・看護相談室のご案内

がんの診断を受けた患者さんやそのご家族に対し、専門のスタッフ(専門・認定看護師、医療ソーシャルワーカー)がサポートいたします。「がんと言われて辛い…」「こんな時どうしたらいいの…」「今後のことを考えたい…」「誰かに聞いてもらいたい…」こういった不安やお困りのことがありましたら、どうぞお立ち寄りください。

▶当院は、「地域がん診療連携拠点病院」です。電話と面談による相談をお受けしております。

☎028-626-5500(代)
【内線】3245



無料低額診療のご案内

当院は、社会福祉法第2条に規定する第2種社会福祉事業として、無料または低額な診療を行う医療機関です。



治療費の支払いにお困りの方は、本館1階「がん相談支援センター／医療相談・看護相談室」の医療ソーシャルワーカーにご相談ください。

栃木県からのお知らせ
救急電話相談のご案内

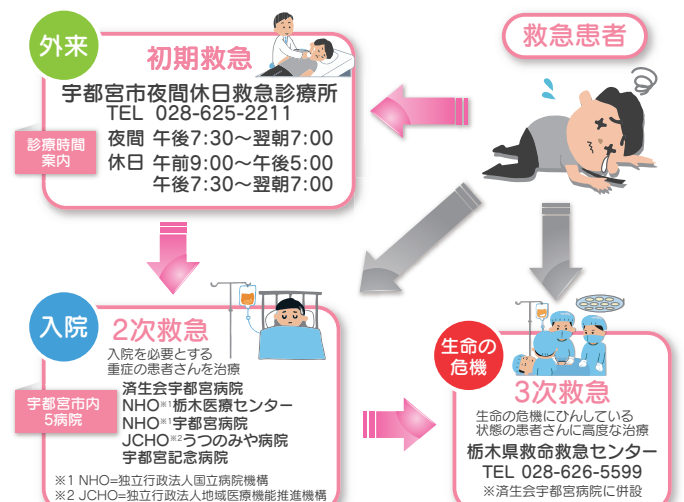
子どもの救急電話相談(概ね15歳未満の方)
☎028-623-3511 局番なしの #8000

大人の救急電話相談(概ね15歳以上の方)
☎028-623-3344 局番なしの #7119

開設時間 月～金 午後4時～翌朝10時
土日祝 24時間

急な病気やケガなどで心配な時にご利用ください。経験豊富な看護師が家庭での対処法や、救急医療の受診の目安などをアドバイスします。

栃木県からのお知らせ
救急医療体制のお知らせ



ちよこっとメモ

春一番

冬から春へと移り変わる頃に初めて吹く、暖かく強い南風を「春一番」と呼びます。漁師の方々が強風に備える合図として用いたことが由来で、今では春の訪れを感じさせる風物詩として親しまれています。地域によって定義が異なるため、この機会に調べてみるのも面白いですね。

寒さが和らぎ、新しい季節への期待が膨らむこの時期が、皆さまにとって穏やかで幸せな春となりますよう心よりお祈りいたします。

編集後記

みやのわ
編集スタッフの
わ

春の訪れとともに冬の寒さが和らぎ、花々が咲き誇る季節となりました。新年度を迎えて新しい一歩を踏み出された皆さまもいらつしやるかと思えます。新しい生活に慣れるには戸惑いや不安がつきものですが、植物が花を咲かせるために環境や支えが欠かせないように、周囲の支えを受けながらゆっくりと成長していきたいと思います。もし身近な方が戸惑っていたら、思いやりの言葉をかけ合い、ともに前に進みましょう。

「みやのわ」86号をお読みいただきありがとうございます。これからも皆さまのお役に立てる情報をお届けできるよう努めてまいります。